

- ・ 良彦 一晩中だぞ。耳元を蚊が飛んでるみたいでむかつくよ。もうやめてくれな。今度別なものを捨てていいよ。
- ・ 猛 いい話だと思うんだけどな。
- ・ 良彦 わかた。わかた。読みたければ俺の見えないところで、俺に聞こえなように読んでくれ。
- ・ 猛 つまんないやつだな。
- ・ 良彦 うるさい。仕事だ。
- ・ 猛 よし！

◎ 二人はソントを脱ぎ捨てる。下には純然たる乞食リック。

作 酒井 一成

ん

◎ 闇の中に二人の小さな人影が現れる。一人が手に持った絵本らしきものを読んでるらしい。

- ・ 猛 「……ところが、ピーターパンは、さりと空ンディーをうけとめました。そして、ふねにとびあがり、手下たちをぎつぎとぎつぎとやっつけました。」さあ、リック。こらしめてやる。「なに、なまよきな。えいっ！力いっ！ばい、剣をふりまわしたそのひょうし、リックは、海ドボウ。「わわわわ、わにだ。たすけてえ「わあ、ばんざい、やっけた。子供達、おおよろこび。ティンカドルは、みんなにあやまりました。もちろん、みんなはゆるしてあげました。空ンディーとジョン・ミカルは、海賊船、おとうさん、おかあさんの待つ家に送ってもらいました。」さようなら、ピーターパン。みんなさよなら「きつと、またくるよ。さようなら！」

◎ 舞台が明るくなる。裏町の街角に少年が二人。晝のソントなどをおおている。

- ・ 良彦 もう捨てちまえよ。その汚い本。
- ・ 猛 やだね。
- ・ 良彦 捨ててきて三日もたてないのに、もう百四十七回は聞たぞ。
- ・ 猛 教えてたのかよ。
- ・ 良彦 いや。
- ・ 猛 何度読んでも良いものは良いじゃないか。
- ・ 良彦 よかないよ。おとき話だろ。
- ・ 猛 そうさ。

- ・ 良彦 なに威張ってるんだよ。似合わないんだよ。おとき話なんて。そういうのはな。かあちゃんの上で冷たいミルクでも飲みながら、金持ちのおぼちやまが読んでもらうものなんだよ。

- ・ 猛 ふざけたこといっいなよ。
- ・ 良彦 大体、なんだ。空飛ぶなんて言うのはよ。現実味が全然ないだろ。
- ・ 猛 そこがおとき話なんだよ。
- ・ 良彦 そんなもんで腹がふくれるか？
- ・ 猛 心が豊かになるんだよ。
- ・ 良彦 そいつは捨ててあたらんだろ。前の持ち主だて、そいつがくだらなひと思たから捨てちまったんだよ。
- ・ 猛 じゃあ、お前もくだらなひと思たから捨てられたのか？
- ・ 良彦 多分な。捨て子なんてみんなくだらなひもんよ。
- ・ 猛 俺は捨てられたとは思ってないぞ。
- ・ 良彦 ほう？
- ・ 猛 俺が捨てたと思ってるよ。
- ・ 良彦 何を。
- ・ 猛 世の中を。
- ・ 良彦 なにかこつけてるんだよ。捨て子が。
- ・ 猛 お前こそ捨て子じゃないか。
- ・ 良彦 とにかくそいつを読むのはもうやめてくれ。昨日は一晩中頭のなかをピーターパンとティンカドルが飛び回っていた。
- ・ 猛 うらやましいな。

自由は金にはかえられないけど、お腹空つては戦きは出来なひ。あんたの財布で、ご馳走しろよ。いいことをすればいいことあるぜ。まちがいないさ。

こんななりしてもドコイ生きてる自由を求めんさすらい人だぜ。まかせてくれよ。

◎ 二人並んで乞食を始める。そへ、克也と朋子。

- ・ 克也 なあ、いいじゃないか。
- ・ 猛 お恵みを。
- ・ 良彦 やめろ。
- ・ 猛 なんて。
- ・ 良彦 お前、目がなひのかよ。あれ、チンカツだぞ。
- ・ 猛 おやおや、女連れかよ。
- ・ 良彦 様子がんだ。隠れる。

◎ ふたり、物陰に隠れる。

- ・ 克也 この辺は、おそうだからさ、俺が付き合てあげると。
- ・ 朋子 えでも。
- ・ 克也 そう言わずにさ。
- ・ 朋子 あ、どちらさまですか。
- ・ 克也 はきり言うけどさ、俺この辺りでは結構有名なのよ。「顔つていうかさ、俺を通さないとたいいていのは出来なひのよ。悪、連中もさ、俺の顔見ると逃げ出すの。」

- ・ 朋子 本当ですか。
- ・ 克也 なんだよ。その疑、深そうな目は。
- ・ 朋子 だて、そんな偉そうな人に見えないんですもの。
- ・ 克也 なな、そこがいいところなんだよ。男はさ、いくら偉くても、偉そうな

顔をしちやダメなんだよ。自然体というかさだまてても自然にかもし出すものがあるだろ。

・ 朋子 全然

・ 猛 あれ、もしかして口説てるのかな

・ 良彦 うーん、信じたくないな

・ 猛 でも、きれいな人だな

・ 良彦 あ、女の人か？

・ 猛 うん、掃き溜めに鶴というか、こんな所ではめたにお目にかかれな人だと思っ

・ 良彦 そうだな

・ 猛 チンカツには、どう考えてもちたひいな

・ 良彦 そうだな、やめさせるか

・ 猛 もう少し様子をみよう

・ 克也 このあたりでのさばってる大島カンピーってあるじゃな。あれさ

るいろ悪いことしてるみたんだけど、このあたりはさ、俺がいるから近寄れな

いの。

・ 朋子 大島カンピーって悪いことしてるんですか

・ 克也 してるしてる、悪いことの大盛りだよ。シヤブは売るし、

・ 朋子 シヤブってなんですか

・ 克也 あ、君、結構育ちがいいんじゃない？

・ 朋子 はあ？

・ 克也 シヤブっていうのはさ、こゝう、なんというか、まあ薬だな

・ 朋子 お薬なんですか。でも、どうして悪いことなんですか

・ 克也 まあつまりな、その薬を使うと気持ち良くなちまうわけだ

・ 朋子 悪いことなんですか

・ 克也 うん、まあなんと説明していいか、あ、知らない？「それとも人間や

めますか

・ 朋子 知りません

・ 良彦 なにやってるんだ？

・ 猛 麻薬の害について説明してるらしい。

・ 良彦 とんでもない奴だな、あいつ、陰、シンナーとか売りさばってる癖に、

・ 猛 シンナーって麻薬か

・ 良彦 似たようなもんだ

・ 克也 とにかく、そうやてさ、悪いことばかりしてる大島カンピーから

俺はこの土地を守るわけだ

・ 朋子 そうなんです

・ 克也 感動したか？

・ 朋子 はい

・ 克也 それだけじゃなんだ、大きな声では言えないがこの辺りにはさ、乞食

が出るんだ

・ 猛 俺達のことか

・ 良彦 多分

・ 朋子 乞食ってなんですか

・ 克也 これくらいのは、ちげなガキがふたりでさ

・ 朋子 ガキってなんですか

・ 良彦 少年と言え！

・ 朋子 少年？

・ 克也 そう、少年でも汚いんだ、もうからだ中ぼろぼろでさ、しかも態度がで

かくて頭悪いの

・ 猛 言いたこと言ってくれるな

・ 良彦 ぶん殴てやろうか

・ 猛 ちやうと待てよ

・ 朋子 はい

・ 克也 そいつらが乞食やてるんだよ、この辺で

・ 朋子 乞食ってなんですか

・ 克也 だから、金をもらおうとするんだよ

・ 朋子 誰ですか

・ 克也 みんなに

・ 朋子 どうしてですか

・ 克也 金がなひからだろ

・ 朋子 かわいそうな人なんです

・ 良彦 同情されると不気味だな

・ 猛 純情な人なんだな

・ 良彦 ただの馬鹿にしか見えない

・ 猛 そんなことないよ

・ 良彦 なに怒てるんだよ

・ 克也 君みたないかにもお金持てそうな人がふらふらしてたら、あいつらす

ぐにたかてくるから、俺がついてさ、守てやるよ

・ 朋子 あてみたいな

・ 克也 誰に

・ 朋子 その、乞食さんたち

・ 克也 なに言てるんだよ、汚いぞ、病気が移るぞ

・ 良彦 ああ、やろう！

・ 克也 十メートルくらいの所に来ただけでさ、プーンと匂いするんだから、俺

はあつらを十メートルつてよんでるの

・ 猛 お、大島カンピーのものだ！

・ 克也 はい！

◎ と深おじぎ

・ 克也 どうも、気がつきませんでした、失礼しました。お知らせいただければお迎えに

参りましたのに

・ 良彦

お知らせいただければだ！お前、ときチンピラになせわれわれが連絡

し

◎ 猛と良彦が出てくる

・ 良彦 お知らせいただければだ！お前、ときチンピラになせわれわれが連絡

し

なければならぬんだ

・ 克也 はい、失礼しました

・ 猛 今後気を付ける

・ 克也 はい

・ 猛 この女だが、お前の知り合いか？

・ 克也 はい、いいえ

・ 良彦 どちだ！

・ 克也 そこで知り合いました

・ 猛 よし、俺達が預かる

・ 克也 え？

◎ 顔をあげたとたん、相手の正体に気づく

・ 克也

・ 猛 なんだ、おまえたちか

・ 良彦 おまえたちとはなんだ、どうせ俺達は十メートルだよ

・ 克也 どうせ病気持ちだよ

・ 良彦 またく、脅かしやがて

・ 克也 あ、お知り合いですか

・ 朋子 乞食だよ、乞食

・ 良彦 なにしてるんだよ

・ 朋子 どんな匂いがあるのかと思ひまして

・ 克也 やめろよ、病気が移るぞ

・ 良彦 てめえ、はたおすぞ

・ 克也 やれるものならやてみる

・ 良彦 上等じゃなひか

・ 猛 おい、これはなんだ

・ 克也 やばい

・ 朋子 それは、私のお財布です

・ 良彦 なあんだ、珍しく損得抜きで、女を口説てるのかと思たら、ただのヌリ

じゃないか。

- ・ 克也 なんだと。
- ・ 猛 お嬢さん、これがチンカツの正体ですよ。
- ・ 朋子 チンカツ？
- ・ 良彦 チンピラの克也、略してチンカツ。最低の男だよ。
- ・ 克也 貴様ら！
- ・ 猛 あー！ 大島カンパニーだ！
- ・ 克也 どうも、気がつきませんでした。失礼しました。お知らせいただければお迎えに参りましたのに……だましたな。
- ・ 良彦 ばーか。
- ・ 克也 ちきしょう、覚えてろ。
- ・ 猛 じゃあな。

◎ 克也 去っていく。

- ・ 良彦 進歩のない奴だな。
- ・ 猛 そんなに大島カンパニーがこわいかな。
- ・ 良彦 ただ臆病なだけだろ。
- ・ 猛 うん、ほら、あんたの財布だろ。

◎ 財布を投げ渡す。

- ・ 朋子 ありがとうございます。
- ・ 猛 気にするなよ。
- ・ 朋子 あ、ご病気なんですか。
- ・ 良彦 俺達か？
- ・ 朋子 だって、あの人が。
- ・ 良彦 あんな奴の言うことまに受けるなよ。それよりさ、俺達から言うのも何な。

- ・ 朋子 はい。
- ・ 良彦 捨てて交番に届けても一割ももらえないんだよな。まあ、俺達の場合危険手当

当 とうか、まあ、ちうと色つけてもらってだ。

- ・ 猛 おい。

◎ と、猛が良彦を隅にうつれていく。

- ・ 良彦 なんだよ。
- ・ 猛 やめろよ。
- ・ 良彦 何を。
- ・ 猛 あの、人、本当のお嬢さんだよ。
- ・ 良彦 だからどうした。
- ・ 猛 何というか、悪い印象を与えたくないんだよな。
- ・ 良彦 なに言ってるんだ。おまえ、自分のかこ見てみるよ。自分の商売考えて見ろや。いつてみる、お前はなんだ。

- ・ 猛 無労働者

- ・ 良彦 そう、自由を愛する無労働者、みんなのカンパに頼って生活してるんじゃないかよ。特に今回の場合、一応労働者でしたんだぞ。文句があるか。

- ・ 猛 でも

朋子 分かりました。さきの人が、乞食という方々は、皆さんからお金をもらう仕事なんだって。

- ・ 良彦 まあ、簡単に言えばな。
- ・ 朋子 お金がないんですね。
- ・ 良彦 まあ、はきり言えばな。
- ・ 朋子 私もなんです。
- ・ 猛 え？

◎ 良彦が財布を改めると確かにからば。

- ・ 良彦 あんた、いいところのお嬢さんじゃないの？
- ・ 朋子 お金で、わたし触たことがないんです。
- ・ 猛 貧乏ぢたんだ。
- ・ 朋子 いつもトメさんが出てくれたから。
- ・ 良彦 トメ？

朋子 とっても優しい人なんです。こんな本気で髯はやしてるんだけど、私が行くところにはいつも歩いてきてくれるんです。

行くところにはいつも歩いてきてくれるんです。

- ・ 良彦 ボディガードかな。
- ・ 朋子 なんです、か、ボディガードで。
- ・ 猛 本当のお嬢さんなんだ。
- ・ 良彦 で、今日はその、トメさんは？
- ・ 朋子 そろと近寄って後からつんとたたいたら、ねちやいました。
- ・ 猛 なにで叩いたの。
- ・ 朋子 ちちやいときおしいさんが買ってくれた花瓶です。割れちぎってでも、急でたから謝ることが出来なくて。

- ・ 良彦 大変だ。

- ・ 猛 うん。

つまり、一文なしと言うわけだ。

- ・ 朋子 はい。

嬉しそうな顔するなよ、で、なんでそんなことしたんだ？

朋子 私、子供の頃からピーターパンが好きだったんです。

- ・ 良彦 げげ！

ある夜、空ンデイのところにピーターパンがやってくるんです。「ね

え、空ンデイ、僕と一緒にネーランド行かないか

ちがうよ、影をなくして探しに来るんだよ。

朋子 そうそう、詳しいんですね。

良彦 心ならずもね、最近夢にでて来るんだ。

朋子 いいですね。

良彦 とんでもない。

朋子 だから私、子供の頃からいつピーターパンがやってくるのか、楽しみに待て

たんです。

良彦 ずっと今までねえ、幾？

- ・ 朋子 17。

良彦 17ねえ。

朋子 でも、いつになたらうちにもピーターパンが来るのって聞くと

メさんもバも、みんなお仕事が忙しくなっちゃうんです。

良彦 わかるよ。

朋子 それで私、自分で行くことにしたんです。

良彦 どう？

朋子 ネーランド。

良彦 ピーターパンに会い？

朋子 はい。

良彦 ダメだ、こりや

朋子 遠んですか？

良彦 なんと、いつていいの、か、まあ、遠くと言えば遠くよな。

朋子 そうなんです、か。

良彦 心配するなよ、俺達が連れて行ってやるよ。

朋子 どう？

良彦 ネーランド、いきたいんだ、俺達が連れて行ってやる。

朋子 うれしい！

良彦 おい、ちちやいよ。

◎ 良彦が、猛を隅にうつれていく。

- ・ 良彦 おまえ、気でも狂ったのかよ。
- ・ 猛 なんだよ。

・良彦 俺は知らないからな お前 何とかしろよ。
・猛 そう言わずにつき合えよ。
・良彦 なにか、緑のタイツは、空飛ぼうていうのか。てめえ、連れてけるものなら連れてみるよ。
・猛 いいじゃないか。だて、かわいそうだから。
・良彦 なにかかわいそうだ。俺は一文の得にもならないことはやらない主義なんだよ。

・猛 いいかよく聞けよ。あの子はどうみてもいいところのお嬢さんだよな。
・良彦 だろうな。常識を知らなすぎる。
・猛 でだ。俺達が彼女の家を探し出して送り届けるわけだ。
・良彦 めんどくさいな。
・猛 捨たものでも一割のお札だよな。
・良彦 うん。
・猛 大金持ちの親にとりて娘の価値てのは、どれくらいのもだろう。
・良彦 十億はくだらないな。
・猛 一割でも一億だな。
・良彦 よし、乗た。
・猛 いいだろう。
・良彦 本当にそれだけだよな。おまえ、なんか変なこと考えてないよな。
・猛 なんだよ、変なことて。
・良彦 まあいい。付き合うよ。
・朋子 いつ出発するんですか。
・良彦 そうですわね。
・朋子 ネー、ランドで遠いですよな。
・良彦 なに、すぐそこですよ。
・朋子 皆さんにはすぐそこかも知れませんが、わたし、空飛、なんです。
・良彦 教えますよ。
・猛 調子に乗るなよ。
・良彦 つきあえていつたのは誰だよ。
・朋子 教えてもらってるんですか。
・猛 まかせてください。
・朋子 ありがとうございます。頑張ります。まず、どうするんですか。
・良彦 ちょっと待ってください。そんな急にいわれても。
・猛 いろいろ訓練をしないとけいなんです。
・朋子 でも、空ンディーは、すぐ飛たと思っんですけど。
・良彦 それはおとき話：いや、まあ体重に応じていろいろコースがあて。
・朋子 私、太ってますか。
・猛 いや、そういうわけじゃ、お。
・良彦 まあ、その、ちよとだけは。
・朋子 わたし、痩せます。
・猛 いや、そんなむきにならなくても。
・良彦 じゃあ、とりあえず僕らの隠れ家に行きますか。明日から訓練開始ていところだ。
・朋子 はい。

◎ そま、ぼろぼろの服を来た女の子。

・ネズ ねえ、なにやってるの。

・猛 なんだ、ネズミか。

・ネズ だれ、その人

・猛 この人はなあ、名前なんていいましたは

・朋子 申し遅れました。朋子です。

・ネズ 朋子ねえ、どうしたの、その子。

・ネズ お前には関係ないだよ。

・ネズ ひどい言い方。この間おまわりに追かけられたとき、私が囮になって逃がしてあげたの忘れたの？

・猛 うるさいなあ、その汚い顔をらとと引込めな。

・ネズ お礼もいってもらってなわよ。あの時は万引きだからつかまた

ら孤児院に送り返されるところだったんですよ。

・朋子 万引きてなんですか。
・猛 気にしないで。帰れていってるだろ。
・ネズ ちかくいこと教えてあげようと思てたのに。
・良彦 なんだよ、いいことして。
・ネズ あ、ねえ。
・猛 聞きたくないね。
・ネズ 最近あんたたちを追かけ回してる。おぢいなおまわりがうるじゃない。

・良彦 保護観察員ていうんだよ。
・ネズ あいつ、結婚するんだて。
・猛 めでたいじゃな。か。
・ネズ ところがその相手が誰だと思う？ 大島カンパニーの関係者らしいのよ。
・猛 ありがとよ、じゃあな。
・ネズ 話はこれからのよ。
・猛 関心なね、いいから消えろよ。なんだ、そのぼろぼろの服はよ。
・ネズ おたがいさまでしょ。
・猛 汚い顔して、男みたな言葉、かやがて、女ていうのはな、朋子さ、んみたにきれいで、良い匂いがあるもんなんだよ。まあ、お前には腐れた魚の匂いがお似合、だけどな。
・ネズ ひどいよ。
・猛 本当だから仕方ないだろ、じゃあな。

◎ 猛と朋子、帰る

・ネズ ひどいじゃないかよ。
・良彦 気にするなよ。あいつ、少し舞上がってるんだよ。
・ネズ なんだよ、あの女。
・良彦 空ンディーだよ。
・ネズ なんだ、それ。
・良彦 おとぎの島に行くんだとき。
・ネズ あつ、これかと、頭の上で手をまわす。
・良彦 さあ、な、どちにしても末の山だな。
・ネズ ふん。
・良彦 じゃあな。
・ネズ おい。
・良彦 しばらく近寄らないほうがいいんじゃないかな。猛もすっかりアホになてるみたいだしな。
・ネズ だて。
・良彦 気になるか。
・ネズ うるさいな。
・良彦 ああ、その調子だ。弱気なネズミなんてみたくもなひや、だて。
・ネズ 似合わないからやめな、じゃあな。
・ネズ おい、見張てるよ。
・良彦 何を。
・ネズ うるさいな、気にするなよ。
・良彦 わかてるよ、じゃあな。

◎ 良彦、帰る、暗転

2

◎ この地区の警察署長の私宅、署長の部屋、一人息子の太郎が、署長と向かい合

っている。ただし舞台上には署長は登場しない。

・太郎 結婚！

◎ とそこに良彦が帰ってくる。

良彦 おい、今日はめし、どうするんだ？

朋子 なんだよ、びびくりしたじゃなにかよ

良彦 おい、猛 お前この人に何かしたのか？

猛 なにもしちやいなよ。

朋子 な。

良彦 ネズミが二人になたのかと愚たよ

朋子 あとさ、あなたたちみたいな服、なにかよ

良彦 服？

朋子 あ、そういう変わった服が私もきてみたいんだぜ。そういう姿をしていると、何となく空を飛、そうな気がするんですだぜ

良彦 おい、このしぎり方なんとかしてくれ

朋子 おかしいですか？

猛 いえ、とんでもない。

朋子 それでは、服を貸してくださいだよ

猛 でも、汚いから

朋子 そんなことないです。なんだかここにびたりして、動きやすそうだし、わたし、そんなふうになてみたいんです、だぜよ

良彦 まあ、本人がそういうんならな

朋子 うれしい！

◎ 服を脱いこうとする。

良彦 ちよと待てよ

朋子 だめですか

良彦 まあ、服は貸してやるから、ここで着替えるなよ、な

朋子 でも、ここが寝室だつて

良彦 お前、妙な下心はなつていったよな

猛 当たり前だろ、ほら、このぼろ貸してやるから、裏の草むら行って着替えていよ

朋子 はい。

◎ 着替えて持て朋子が去る。

良彦 知らないぞ、俺、頭がおかしくなってきた

猛 本当に純粹な人だよな

良彦 馬鹿だよ、ありや、で、どうするんだよ

猛 とにかく、あの人の口に会うような食物を探して、こいつとな

◎ 隅にある空き缶をひっくり返すと中から小銭が落ちる。

良彦 おい、なにをするんだよ

猛 ちよと買、物に行ってくるよ

良彦 それ、ここ三ヶ月かかて貯めたんだぞ

猛 わかてるよ

良彦 二人がかりで、ちよと貯めたんだからな、勝手に使うなよ

猛 その割には少ないな、ちよと一食分てと、ころだ

良彦 おい、どんな、馳走を買ってくるもりなんだ。相当あるはずだぞ

猛 ばか、俺たちがいつも喰っているようなものと一緒にするなよ

良彦 待てよ、二人が賛成しなければこの金には手をかけなつて約束したじゃ

な、い、か。

猛 なんだ、お前反対か

良彦 当たり前だろ、三ヶ月の苦勞を、ちよかのお嬢さんの気まぐれに付き合、つて

・ 猛 パーに出来るかよ、俺たち二人なら一週間は食える金だぞ

・ 良彦 明日稼げばいいんだよ

・ 良彦 明日は空の飛び方を教えるんじゃないかな、たのか

・ 猛 ……

・ 良彦 大体お前、本気で考えてるのかよ。あいつの家見、けて礼金をもらうんだろ、それには金もかかる。元手があるんだよ。おい、お前、本気で探す気あるんだろ、うな、答えろよ。

・ 猛 行ってくる

・ 良彦 やめろ、俺はまだ賛成してないぞ。

◎ 猛は黙って横をすり抜けようとする。良彦が前に立ちはだかる。

・ 猛 殴るぞ。

・ 良彦 やてみる

◎ ならみ合う二人、そへ、朋子が着替えて戻ってくる。

・ 朋子 ならめ、こして、るのかよ。

・ 猛 腹減、ただろ

・ 朋子 腹減、た？

・ 良彦 お腹がすいて、なにか贅沢なものでも食たいんじゃないや、ありませんか、て言

てるんですよ。ああ、また、古からのスタートか。

・ 朋子 食、たくありません

・ 猛 でも

・ 朋子 私、ダ、イト、ト、します。少しでも早く空を飛、るよう、に。

・ 良彦 参、た、ね、これは。

◎ いきなり太郎がゐてくる。

・ 太郎 こんばん、ね

・ 良彦 なんだよ、びびくりするじゃな、い、か、よ

・ 朋子 びびくりするじゃな、い、か、よ

・ 太郎 おや、今日はネズミ、君も来るのか。

・ 朋子 ネズミ？

・ 太郎 いや、違、た、なんだ、い、新しい仲間が増えたのか、い。

・ 猛 悪、か、よ

・ 太郎 いや、そういうわけじゃな、い、けど、ね、食、る、も、と、か、寝、る、と、こ、ろ、の、こ、と、を

考、え、る、と、少、し、気、に、な、る、な

・ 良彦 関係、な、い、だ、ろ

・ 太郎 そんな、こ、と、は、な、い、さ、見、た、と、こ、ろ、き、れ、い、な、お、嬢、さ、ん、じ、や、な、い、か、お、嬢、さ、ん

い、つ、た、い、ど、う、し、て、こ、ん、な、と、こ、ろ、に、い、る、ん、で、す、か

・ 猛 関係、な、い、つ、て、言、て、る、ん、だ、よ、第、一、こ、い、つ、は、お、嬢、さ、ん、な、ん、か、じ、や、な、い、ぜ

俺、た、ち、と、お、ん、な、じ、え、食、仲、間、で、さ、朋、吉、て、い、う、ん、だ、よ、北、の、ほ、う、か、ら、流、れ

て

き、て、偶、然、一、緒、に、な、た、ん、だ、よ

・ 太郎 そう、か、で、お、腹、は、す、い、て、い、な、い、か、本、当、は、き、ち、ん、と、保、護、者、の、と、こ、ろ、に、帰

る、の、が、一、番、だ、が、な、か、な、か、そ、う、も、行、か、な、い、ら、い、い、と、に、か、く、仕、事、だ、け、は、と、り、あ

え、ず、探、し、て、お、く、か、ら、今、度、は、逃、げ、な、い、で、ち、や、ん、と、や、る、ん、だ、ぞ

・ 良彦 はい、よ

・ 太郎 じゃあ、僕、は、こ、れ、で、朋、吉、君、明、日、ま、た、会、う、よ、今、日、は、何、だ、か、落、ち、つ、か、な

い、み、た、い、だ、か、ら、明、日、ゆ、く、り、話、を、し、よ、う、お、や、す、み

◎ 太郎、帰る

・ 猛 また、く、お、節、介、な、奴、だ

・ 朋子 あの、友、お、名、前、は、な、ん、て、お、し、や、る、ん、で、す、か

・ 良彦 あの、方、な、ん、て、も、ん、じ、や、な、い、よ、神、谷、太、郎、二、十、六、才、今、の、と、こ、ろ、独、身、保

護、観、察、員、て、奴、く、つ、い、こ、の、間、ま、で、俺、た、ち、を、孤、児、院、に、連、れ、戻、せ、う、と、必、死、に、な

つ

て、い、た

・ 朋子 太郎、さ、い、て、お、し、や、る、ん、で、す、か

・良彦 じゃあな
・太郎 おと今日はそういう訳にはいかないんだ。昨日だった仕事のことだ
けどいいのが見えたよ。多分今度は気に入ってもらえると思うんだ。

・ネズ 私帰るね

・太郎 だめだめ。その遊園地のお好み焼き屋さんの売り子なんだ。残たら
みんな帰って帰っていつて言ってたぞ。でも君達みたいな元気な子供たち
が売ってたら売れ残るわけないものな。

・良彦 元気な子供たちでなんだよ。

・朋子 私元気で。

・ネズ あんたは黙てな

・猛 おい。

・太郎 まあいろいろ都合もあるだろうけどこの太郎さんが苦勞して探してき
たんだ。こんな道路に座ってるよりずっといいぞ。さあこれが着替えた。一
度家に帰って水でも浴びてきれになて集合だ。

・ネズ お前がやれよ。

・太郎 いやあ 嬉しいなあ。一つ足りないかと思ってたんだけど たまたま一つ
余分があつたよ。これ 君ね。

・朋子 はい。

・太郎 じゃあ きちんと着替えてお昼に集合な。昼はちぷりお好み焼きが食
られるぞ。さて 打ち合わせ 打ち合わせと。

◎ 洋服を置いて太郎が去っていく。

・ネズ なんだよこりや。七五三か。

・良彦 疲れるんだよなあ。あつ。でもこの服 古着屋に叩き売たら金になりそ
うだ。

・ネズ なるほどねよし。

◎ 服を集めるが、朋子が服を持って離さぬ。

・ネズ 離せよ。

・朋子 いやです。

・ネズ 離せていつてるだろ。

・猛 やめろよ。

・ネズ こんなもん どうするんだよ。まさかこんなもの着て遊園地に出かける
つもりなのか。

・猛 そうだよ。

・良彦 お前 本気か。

・ネズ いいかげんにしろよ。あんた 馬鹿だよ。目が見えないのかよ。この女は
太郎のこと好きなんだぞ。そんなの一目見れば分かるじゃあな。

・朋子 私が、太郎さんのこと、好きなんですか。

・猛 ちよと、先に行つて着替えていてくれなひか。

・朋子 でも
・猛 早くしてくれよ。

◎ 朋子 去る。

・猛 言いたことがあたら言えよ。

・ネズ 別にいいよ。

・猛 朋子さんが、太郎のこと好きだつて言いたんだろ。

・ネズ まあな。

・猛 そんなことわかつてるんだよ。あつ、ずるいよ。昨日きなりあてき
てよ。それでいきなりこんなにな。ちまうなんてあんまりだろ。おい、ネズミ
そう思わなひか。あつが朋子さんになにあてあつたんだよ。あつが一晩
泊めてあつたか。あつがピーターパンの話したか。あつが空飛ぼうつて言
つてあつたかよ。あつ、何にもしてないじゃあな。汚よ。そんな馬鹿な
ことあるかよ。

・ネズ しょうがなひだろ。

・猛 わかつてるんだよ。しょうがなつてことはさ
・ネズ 忘れちまひないじゃあなひかよ。仲間だつてゐるんだから。あんな女
関係なひよ。

・猛 でも

・ネズ そんなにあの女が好きか。

・猛 悪か。

・ネズ 関係なひよ。よし、わかつたよ。あたしが教えてやるよ。

・猛 なにを。

・ネズ だからその、女の口説き方だよ。

・猛 誰か？

・ネズ 私が。

・猛 何を？

・ネズ 恋の仕方だよ。

◎ 後で良彦がわらいこぼる。

・ネズ 良彦 てめえ、ぶころすぞ。

・良彦 悪い悪い。でもよ。

・ネズ いいんだよ。ちよとつち来よ。

・良彦 はいよ。

・ネズ いいか、まずデートを申し込むんだ。

◎ 歌 「恋の手ほどき」

・猛 「ぼほぼくとででーとを
ウジウジしてると逃げられる

・ネズ 「おう、ねえちゃん、今夜暇か

・ネズ 下品な男は嫌われる
優しくさわやかにちよと、心の隙間に入り込んでみせて
素敵な一時をきとくれると思わせて

・猛 「デートになたらら
相手が時間に遅れても明るく笑つて気にしな
髪型 服装 褒めてみて

・ネズ 「最高にきれいですよ
そんな一言を待っている

・良彦 「公園 行」

・ネズ ベンチに座たらふたり

・猛 こつそりゆくり肩に手を回して

・ネズ 「ダメ」
いつも紳士でいて今は 信頼させていて

・ネズ 「でいよいよ自分の部屋に招待するの」

・良彦 「昨日泊まつただけどな

・ネズ 「なに」

・良彦 いや、こつちの話

・ネズ ボムム 絞つて音楽を

・猛 「そんなものなひよ
紅茶とケーキを勧めるの

・良彦 「上品あて
勇気をふるつて愛の言葉

・ネズ 「うまく言えないよ
たどたどしくても誠実に

・猛 小さな僕だけどきとあなたを遠く連れていつてあげる
初めて見つけたよ夢を あなたを守りたい

・ネズ 大丈夫 それなら うまくいく

◎ 朋子が戻ってくる。

- ・ 朋子 似合うかよ。
- ・ 猛 最高にきれいですよ。
- ・ 朋子 え。
- ・ 猛 さあ、僕も着替えてこなくちや。手伝ってくれるかなあ。
- ・ 朋子 はい。

◎ 猛 朋子去る。

- ・ 良彦 いいのかよ。
- ・ ネズ いいわけないだろ。
- ・ 良彦 馬鹿な奴だな。
- ・ ネズ あつが落ち込んでるところ見てるほうがいやなんだよ。
- ・ 良彦 まあいろんな考え方があつたよな。どうするんだ。
- ・ ネズ 行けるわけないだろ。お好み焼きなんて、ばかばかしくてやてられないよ。
- ・ 良彦 まそういうことしておくか。俺は行くぜ。
- ・ ネズ 勝手にしろ。
- ・ 良彦 腹つぱい食わせてもらおうとするか。じゃああとで会おうな。
- ・ ネズ 行かなくて言うたろ。
- ・ 良彦 じゃあな。
- ・ ネズ あたしは行かないからね。お好み焼きなんか大嫌だ。みんな喰いすぎで死んじゃまえげいんだ。
- ・ 良彦 あとでな。
- ・ ネズ 馬鹿野郎。

◎ 良彦とネズ 左右に別れ去っていく。

6

◎ 別の街角 公衆電話がある。克也が一目をはばかりように来てきてポケットの紙切れを取り出す。

- ・ 克也 ひさびさだな。特別指令がくるのはきてきて、十円玉 十円玉と(なかなか見からない) こいいらでいっばいでかい山を当てるよとこのチンカツさまもおまんまの喰い上げだな。

◎ 紙切れを見ながら電話をする。

- ・ 克也 ちえ、はやくしろよ。またいぶりやがて。またく、便所でもいってののか。くだらん連絡係の癖に生意気なんだよないちどはしらとひいてやらなといかん。おはようございます。克也です。登録番号248番です。
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 合言葉？ はい、今思ひ出します。えーと。
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 切らなひてください。はい、思ひ出しました。「金光先生、くろうさん。三日になつてよかたね。あ、この合言葉、何か意味があるんですか？
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 すいません。私には関係ないことですよ。
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 分かりました。絶対によくないことは口にしません。
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 秘密厳守ですか。任せてください。これでもわたくし、口は堅ほうなんです。
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 そんなに脅かさなひてくださいよ。どうすればいいんですか。

・ 電話 ……

- ・ 克也 人探し？ 任せてください。小娘一人ですか。はい、わたくし、女性関係には強いです。そんなふざけた小娘、すぐに捕まえてお尻をひっぱいてやりますよ。あれでしょ、また小銭を持って逃げたアホ事務員かなんかがいたんですよ。

- ・ 電話 ……
- ・ 克也 会長の娘さんですか。
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 秘密厳守ですよ。そりやあ、で、何で逃げ出したりしたんですか。
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 秘密厳守だ。会長も立場なひですよ。わかりました。このチンカツによく任せていただきました。なんとかしましよう。大船に乗った気がいってくださいと会長にお伝え…。

- ・ 電話 ……
- ・ 克也 すいません。で、服装の特徴などは。
- ・ 電話 ……
- ・ 克也 なるほど。スカートは、以降、上演時の衣装に合わせる…。どうかで見たことがあるないえ、うちの話いや、独り言です。まさか身長はこれくらいで？

- ・ 電話 ……
- ・ 克也 なるほど。電話しや見えませんね。そうです。一メートル、役者に合わせるセンチくらいで、なんかテンポのはずれたお嬢さんじゃないでしょうか。

- ・ 電話 ……
- ・ 克也 いえ、心当たりなんか全然。これは結構手こずりそうですね。いえ、任せてください。絶対にみつけます。で、お礼はどうか。お手当のほうは？

- ・ 電話 ……
- ・ 克也 一応約束だけでもいえ、わたくしとしてもいろいろと苦労をしようです。危険もあるでしょう。いえ、大島カン二ーの為なら命もいらぬ私です。

- ・ 電話 ……
- ・ 克也 でも、あ、気持ちいいんです。あ、…ちえ、切らなひやがた。

◎ 受話器を置く。

- ・ 克也 ちきしょう、いいように人をこき使やがて。今にみているよ。いつまでもお前らにあつてこき使われるチンカツさまじゃなぞ。あのアホ嬢が大島カン二ーの一人娘とはね、こいつは使えるネタだな。一勝負できそうだとにかく、あのガキどもをみつけなひとな。まさか、もうバイバイしたということはないだろ。さて。

◎ そろそろ太郎

- ・ 太郎 やあ、克也じゃなひか。
- ・ 克也 なんだ、太郎か。
- ・ 太郎 あ、かわらなひかがわしいことをしてるみたいだない。加減に足を洗わなひと今に痛、目にあうぞ。
- ・ 克也 お前にはわかんないよ。ガキの頃からい子い子できたお前にはな。
- ・ 太郎 なに言ってるんだ。いつかお前が堅気になると思てずとかばてるんじゃなひか。お前が、まだに大通りを歩いてられるのも、僕が親父にうまく話してるからだぞ。
- ・ 克也 笑わせるなよ。俺に手を出せないのは、俺が大島カン二ーの下端だからだよ。お前の親父も最近頑張ってるらしいが、カン二ーが本気になったら、すぐに首が飛ぶんだぜ。
- ・ 太郎 そんな馬鹿な話はないさ。
- ・ 克也 そうやて、夢をみてな。現実はずと汚らしいものさ。
- ・ 太郎 そうかもしれない。だからこそ、僕はその汚い現実から子供達を守っているんじゃないか。
- ・ 克也 お前、それ本気で言てるのか。

・ 太郎 本気だとも
・ 克也 笑わせるな お前のやてることは親父とかわからねえいい子ていう檻の中にガキを閉じこめてるだけさ お前は世の中のことが全部童話の世界にな

つちまえばいいと思ってるのさ 小学校の時からせいっだけは全然かわらねえ 覚えてるか 小学校三年の時な 俺が休み時間に非営ル鳴らしちまて 大騒ぎになたことがあたる

・ 太郎 覚えてないな
・ 克也 お前に取っては大したことじゃなかつたんだろうよ お前 俺がやた」と知ってて 先生のところに行ってこう言 たんだけ 「克也君がやたんです。でも 克也君を責めなひでください。僕が克也君と肝試しをやてたんです。僕も同罪なんです。罰を与えるんなら僕にしてください」

・ 太郎 思いだしたよ 先生は感動して今回のことはなかつたことにしておくと言つてくれた

・ 克也 馬鹿 俺はあのと両親が呼び出されて大変なつたんだよ 知りもしない肝試しのことまで聞かれてな 太郎君の勇気を見習えだとも

・ 太郎 それは申し訳なかつた
・ 克也 だからおめでたいんだよ お前のことガキどもがなんて呼んでるか知てるか。ズレ太郎ていうんだよ やることなすことずれてるからさ 所詮金持ち育ちのお坊ちゃんだ 貧乏ぢたり親をなくしたりした奴のことほわかりこねえ

・ 太郎 そんなことはなひ。
・ 克也 あるんだよ お前の頭にあるのはせいぜいシンデレラの世界だ。かぼちゃを馬車にかえてくれる魔法使がいたら連れてきて見ろよ 魔法使の来な

い シンデレラは俺みたいに下のほうで床磨きをしてるしかなんだよ。

・ 太郎 僕は魔法使になりたいんだ。

・ 克也 どうしようもない馬鹿だな まあ 勝手にやてくれ 俺は忙しいからな行くよ。

・ 太郎 今の電話か。

・ 克也 なんだ 聞いてたのか。

・ 太郎 ちよとな どうかの娘さんが逃げたんぢって

・ 克也 秘密厳守の話なんだ。ばれたら俺はぶち殺される

・ 太郎 まさか

・ 克也 大島カン二ーにまさかはなひの。どうかのアホと大島の一人娘を結婚させようとしたらしいや。なんか警察関係のガキらしくて、まあ 暴力団と警察の癒着てやだな 道具に使われてるとも知らず、すっかりその気になてゐるらしいや。それで女に逃げられちやな 男として最高に女ともなひぜ。ま

つたく顔がみてみたいよ。

・ 太郎 案外近くにいるかも知れなひぞ。

・ 克也 まあ 俺が娘を連れ戻せば結婚式だ。俺も覗きに行くよ。アホづらを拝

みに

にな

・ 太郎 多分 結婚式はないと思うよ。

・ 克也 俺をなめてるな もうちゃんと目星はついてるんだ。今日中にみけたすさじゃあな

◎ 克也 去る

・ 太郎 僕 そんなアホづらかな まあいや きばりことわたもんな 僕はどちらかというとも子君のような ああいうタイプのほうが好みだし。よし 頑張てお好み焼きをくくるか。みんな 来るかな

◎ 太郎 去る

・ 猛 はい、いらしゃい、いらしゃい。おいしいお好み焼きですよ
・ 朋子 お好み焼きですよ
・ 良彦 はい、はい。…てめえ 買えよ。買わなひ？ ガキだと思てなめてるな

この野郎

やめろよ。

・ 良彦 だてあの野郎 あちのたこ焼きなんか買やがて

・ 猛 お前 始めると結構燃えるな

・ 良彦 だてお前 これほとんど小麦粉だけじゃなひかよ こんなもん四百円で

売るんだろ。笑いがとまんねえよ

・ 猛 そんなこと大声でいうなよ

・ 良彦 それでも馬鹿が買ってくんだよ。こりや、俺達のほうが正直な商売だぜ

最初から「金くねっていうんだからな

・ 猛 そういわれると落ちつかないな

・ 良彦 ま 俺はどうでもいいけどな。しかし、お前似合うな 本当に七五三みた

いだ。

・ 猛 お前こそ、全然似合わないじゃなひかよ。

・ 良彦 小さすぎるんだよ。まあ、そのかこならびたりだな

・ 猛 なにに

・ 良彦 お前 告白するんだろ 朋子さんに

・ 猛 なんだ、そのことか。

・ 良彦 やるなら早くしろよな。初めてやるお好み焼きに朋子さんが夢中にな

て

るうちによ。また「こりやて空飛ぶんですか」なんて真面目な顔して聞かれ

たらえらいことになる。

うん

・ 良彦 彼女の家探すまでは、何とかこまかさなひと、こーだもんな

・ 猛 別に俺はそんなつもりで

・ 良彦 ああ、わかつてるわかつてるよし、ちよとど客も途絶えたしな。今だろ

・ 猛 いや、まだ、その、心の準備か。

・ 良彦 なにいつてるんだよ。お好み焼きが珍しいみたいで、お客がこようとこま

いと士でも二十でも焼てるんだ。すぐやれ

・ 猛 おおお

◎ 夢中でお好み焼きを焼いている朋子に近づく猛

・ 猛 おう、朋吉

・ 朋子 はい。…なんだよ

・ 猛 いや、その朋子さん

・ 朋子 なんだよ。忙しいんだからよ。早く言えよ。

◎ 良彦のところに戻る猛

・ 猛 あんなふうにならわれたらうまくいえないよ

・ 良彦 お前が教えたんだろ。ああいうしゃべりかた

だて、頼まれたら

・ 良彦 自分したことには自分で責任持つ。ほら 行け

◎ 再び朋子のところに行く猛

・ 猛 朋子さん

・ 朋子 なんだよ

・ 猛 ぼぼぼぼ

・ 朋子 ボール！

・ 猛 は？

・ 朋子 ボール取てくれよ

・ 猛 はい。

・ 朋子 こんどはめちやくちや大きいの焼くからな

- ・ 猛 楽しみだなあ
- ・ 良彦 おい、真面目にやれ
- ・ 猛 朋子さん ぼぼぼくと「ここ」
- ・ 朋子 小麦粉！
- ・ 猛 え？
- ・ 朋子 小麦粉取ってくれよ
- ・ 猛 はい。

◎ ボールを渡す。

- ・ 朋子 めざすは直径四十センチだな
- ・ 猛 ああ…。
- ・ 朋子 早く言えよ。
- ・ 猛 ぼぼぼくと「こ、今度 デ、デ…でかいですな
- ・ 朋子 だからでかいの焼くっていつてるだろ
- ・ 猛 だからその、僕と ああ…。

◎ ネズミが着飾って登場する。

- ・ ネズ (歌う) うじうじしていると嫌われる
- ・ 猛 なんだ お前
- ・ ネズ 様子見に来たんだよ なんだ 似合うじゃないかよ
- ・ 猛 どうしたんだ、そのかこ。
- ・ ネズ 似合うだろ
- ・ 良彦 太郎が持ってきた奴か。
- ・ ネズ そうだよ。
- ・ 良彦 やっぱり来たじゃないか
- ・ ネズ ちと丁寧な口きけよ。あたしはお客様なんだからね
- ・ 猛 金あるのか？
- ・ ネズ 当たり前だろ
- ・ 朋子 ちよと待てるよ、今でかいの焼くからな
- ・ ネズ おお、猛こいつになんかしたのか
- ・ 良彦 これからだよ
- ・ ネズ ふん 弱虫
- ・ 猛 なんだと。
- ・ ネズ お前なんか、男の腐た匂いがお似合なんだよ
- ・ 猛 殴るぞ。
- ・ ネズ じゃあ、真面目にやれよ。ちかく教えてやんだからよ。垂抜たら、殺すぞ。
- ・ 猛 よしみてろよ

◎ みたび朋子のそば。

- ・ 猛 おい、朋子。
- ・ 朋子 はい。
- ・ ネズ (歌う) 下品な男は嫌われる
- ・ 猛 うるさい！
- ・ 朋子 はい。
- ・ 猛 お前に言ったんじゃないんだよ
- ・ 朋子 ごめんなさい。
- ・ 猛 小さな僕だけどきとあなたを遠く連れていってあげる。初めて見けたよ夢を。あなたを守りたい。

◎ ちょうどそこへ 太郎が来る。

- ・ 太郎 やあ、頑張ってるかな
- ・ 朋子 はい。
- ・ 猛 ああ…。

- ・ 朋子 見てください、こんなに大きいのが焼けたんですよ
- ・ 太郎 すいな そりや。朋子君は才能があるんだね
- ・ 猛 あつ、なんとかしてくれよ
- ・ 良彦 泣くな 泣くな
- ・ ネズ 人それぞれだからよ。しかたないんだよ
- ・ 猛 うるさい。俺 あつに決闘を申し込んでやる
- ・ 良彦 やめろよ
- ・ ネズ 負けたら最悪じゃないかよ

◎ その間 太郎は特大お好み焼きを試食している。

- ・ 太郎 おいしいじゃないか
- ・ 朋子 そうですか
- ・ 太郎 うん、小麦粉の味がよく出ているよ。余分な具ははついていないところがいいんだな シンプルで美味しいよ
- ・ 朋子 あと食ってください。
- ・ 太郎 いや、こんなに大きいのは僕一人ではね
- ・ 朋子 食ってください。
- ・ 太郎 じゃあ、もう一切れ
- ・ 朋子 おいしいですか
- ・ 太郎 ああ、ほべたが落ちそうだよ
- ・ 朋子 本当ですか
- ・ 太郎 僕が嘘をついたことがあるかい。いや、また知り合ってから二日しか経てないね
- ・ 朋子 はい、でも

◎ 包丁を持った猛が割てはいる。

- ・ 太郎 やあ、猛君
- ・ 猛 きさま、俺とははははは
- ・ 太郎 どうしたんだい。
- ・ 猛 は、けこううまそうじゃないか
- ・ 太郎 なんだ、君も欲しかったのか。包丁なんか持てなくてもほら、箸で切れるほど柔らかいぞ。
- ・ 猛 いただきます。
- ・ ネズ だめだ、あつ。
- ・ 良彦 見てるうちが情けなくなってくる
- ・ ネズ あたし、帰るよ。ばかばかしくなってきた
- ・ 良彦 嬉しいか。
- ・ ネズ そういうこと言うなよ。複雑な気分なんだからよ
- ・ 良彦 おい、俺にも一口食わせろよ。小麦粉だけのお好み焼きなんて、なかなか食えないしな
- ・ ネズ やつてられねえよ

◎ と帰りかけたところで克也と鉢合わせする

- ・ ネズ 気を付けろよ…なんだ、チンカツか
- ・ 克也 ガキと遊んでる暇はないんだよ
- ・ ネズ なんだと
- ・ 克也 大島朋子！
- ・ 朋子 はい。
- ・ 太郎 大島朋子？
- ・ 良彦 はいつて、あんた、大島ていうの？
- ・ 朋子 はい。
- ・ 猛 大島カンペーの？
- ・ 朋子 大島カンペー？
- ・ 猛 知らないみたいだぞ。人違いじゃないか
- ・ 良彦 びくりしたな、同姓同名か

・ 克也 俺の目はごまかせないぞ。まったく、結婚式すぼかして逃げ出すなんて
とんでもないお嬢さんだぜ。
・ 猛 結婚！
・ 克也 ガキは黙てる。
・ 猛 おい、人遣いだろ。朋吉、何とか言えよ。
・ 朋子 だて、私、ピーターパンを待ってたんです。きとピーターパンが窓を開
けて私をネーランドに連れていってくれるから、私、ずっと待てるんです。
でも、ピーターパンは来ないから、私、探しに行くんです。

・ 猛 朋吉…。
・ 朋子 空の飛び方を教えてください。朋吉にも空を飛ばせてください。猛さん
ピーターとお友達なんです。空を飛びたいんです。ちよと太てるかも
しれないけど、わたし、一生懸命やりますから、空の飛び方を教えてください。
い。

・ 猛 あの。
・ 朋子 飛んんですか。
・ 猛 …。
・ 朋子 飛んんですね。
・ 猛 ごめん。
・ 朋子 本当に空が飛びたかたんです。ネーランドに行きたかたんです。
・ 猛 太郎！ 何とかしてくれよ。お前、正義の味方なんだろ。朋子さんはな
お前のこと、好きなんだぞ。お前、何とかしろよ。朋子さん、連れて逃げろよ。
・ 克也 太郎？ お前、なにしてるんだ。
・ 太郎 お好み焼き屋さんだよ。
・ 克也 お似合いだ。
・ 太郎 猛君、良彦君、ちよと席をはずしてくれな。か。
・ 良彦 なんだよ、偉そうに。
・ 太郎 お願いだ。
・ 猛 やだよ。
・ 良彦 行こえ。
・ 猛 やだよ。
・ 良彦 馬鹿野郎！ ガキの出る幕しやないんだよ。

◎ 猛が去っていく。良彦が後を追う。

・ 克也 なんだよ。なにかあるのかよ。
・ 太郎 克也、僕はアホ顔かな。
・ 克也 なんだよ。いきなり。
・ 太郎 僕がその、アホなんだよ。警察と暴力団の癒着、そのだしにまたアホ
なんだよ。
・ 克也 結婚するアホか。
・ 太郎 僕が連れて帰ろうと思うんだが、構わないか。
・ 克也 結婚するのか。暴力団とお仲間になるのか。
・ 太郎 暴力団は嫌いだ。
・ 克也 じゃあ、どうして…なるほど、わかりましたよ。ちえ、そんな役たよな。
おい、礼金はお前の親父からもらうからな。まあ、今度のところはかこい
役やらせてやるよ。じゃあな。

◎ 克也去る。

・ 太郎 そういっわけなんです。
・ 朋子 あの…。
・ 太郎 ちゃんと迎えに行きますから、お父さんのところに帰してもらえませ
んか。

・ 朋子 はい。
・ 太郎 僕は、子どもの頃からウルトラマンになりたかたんです。正義の味方に
なて悪い奴から地球を守りたかたんです。それなのにウルトラマンは宇宙
に帰てしまいました。これから地球は誰が守るんだよ、そうだ、僕、しかないな
いと思て、体育だけは一生懸命やりました。そしたらウルトラマンがまた帰

つてきて、これで地球も安心だ。僕が大きくなるまでウルトラマン、頑張て
くれよ。そう思てたんです。そしたらまた、ウルトラマンは宇宙に行てし
まいました。なんでだろう、僕はまだ小さいのに。しばらく待ていたら新し
いウルトラマンが地球にやてきました。ウルトラマン、名ウていっんです。
あれ、僕なんです。もう一人の僕が毎週三十分だけ一生懸命地球のために戦
ていたんです。今、僕も戦てます。

・ 朋子 悪奴と？
・ 太郎 はい。
・ 朋子 大島カン二ッて悪いことするんでしょ。さきのチンカツさんが言
てました。太郎さんの敵なんです。ね。
・ 太郎 そうです。だから僕は朋子さんを大島カン二ッから守るんです。
一つ、教えて欲しいんです。

・ 太郎 はい。
・ 朋子 ウルトラマンはピーターパンなんです。か。
・ 太郎 漢ます。ピーターパンはネーランドに住んでる大人にならな。子ど
もです。でも、ウルトラマンは大人なんです。この世界には悪い奴がいっぱ
いるんです。ウルトラマンはやられてもやられても悪い奴と戦うんです。

・ 朋子 はい。
・ 太郎 ウルトラマンも空を飛るんです。僕も空を飛るんです。心だけで
けど、ね。
・ 朋子 はい。
・ 太郎 じゃあ、お父さんのところで合合しよう。
・ 朋子 はい。

◎ 朋子去る。間、猛が包丁を手に現れる。

・ 猛 朋子さんをどうした。
・ 太郎 帰たよ。
・ 猛 どこに。
・ 太郎 お父さんのところだ。
・ 猛 お前、彼女を大島カン二ッに渡したのかよ。
・ 太郎 家族のところに帰るのが一番いいんだよ。
・ 猛 家族なんて大嫌いだ！
・ 太郎 そうだね、君は三歳の時、ご両親を亡くしたんだらね。
・ 猛 大人の言葉、話すな。そうだよ、死んじましたよ。俺は親戚の間をたらい
回しにされて、結局孤児院に連れてかれたよ。家族のところに行くのがそん
な

にいいかよ。お前、いい奴だと思てたのによ。ちよとうるさいけど、話の
分かる奴だと思てたのによ。

・ 太郎 包丁を渡してくれな。か。
・ 猛 大人の言葉、話すな。
・ 太郎 いい子だから落ちついてくれよ。
・ 猛 大人の言葉、話すな。
・ 太郎 わかたよ、事情を説明する。
・ 猛 説明なんてやめる。今すぐ飛よ。
・ 太郎 猛君。
・ 猛 今すぐ飛よ。
・ 太郎 いい子だから聞いてくれよ。
・ 猛 俺はいい子なんかじゃない！

◎ 猛が太郎を刺す。あわてて逃げる。

・ 太郎 いいよ、逃げなくて。ウルトラマンは傷だらけになても死なな。んだよ
いいんだ、逃げなくて。

◎ 克也がやてくる。

・ 克也 様子 見てたぞ。
・ 太郎 馬鹿だな。止めてくれればいじやないか。
・ 克也 猛ちてこのままじゃ納まらなだろうと思てさ。本気で刺すとは思わなからたけど。
・ 太郎 ひとごとだと思て。
・ 克也 どうせかすり傷だ。おい、手をかすよ。
・ 太郎 これからもずっとな。大島カン二一をなんとかしなくちゃ、示しがかない。
・ 克也 死んだほうがいいんじゃないか。
・ 太郎 死んだ気になってやるよ。結婚式は当分延期だな。
・ 克也 俺みたいな下端じゃ関係ないよ。
・ 太郎 新郎友人代表で呼んでやるよ。
・ 克也 約束だぞ。

◎ 二人去る。

8

◎ 翌朝 猛が歩いてくる。後を追って良彦とネズミ。

・ 良彦 本当に行くのかよ。
・ 猛 うん。自首するよ。
・ ネズ 太郎も大した怪我しやなくてすぐ良くなるらしいじやないか。
・ 猛 うん。
・ 良彦 あかさお前には黙ってたんだけど、朋子さんの財布 俺、預かてたんだよ。返しそびれちぢてさ。
・ 猛 あ、穹ぼの財布か。
・ 良彦 朋子さんは知らなからたみたいだけどな。裏の縫い合わせのところに一万円札が五枚 たたんでつっこんであった。

・ 猛 お前 財布こわしたのか？
・ 良彦 まあちよと勘が働いてな。きと大島の親父が保険のつもりでいれておたんだらう。

・ 猛 ちゃんと返せよな。
・ 良彦 これは朋子さんのプレゼントなんだよ。無意識かもしれないけど。だからこれお前にやる。これ持て逃げるよ。太郎の意識ははっきりしてるみたいだから、お前がやなことすぐばれるしな。

・ 猛 太郎は言わないよ。
・ 良彦 なんて？
・ 猛 そんな気がするんだ。きと包丁で遊んでてけがしたとか、訳のわかんないことを言てると思て。

・ ネズ だたらなおさら自首することなんかないよ。
・ 猛 良彦 お前言たる。自分のしたことには責任もたなきやダメだてさ。俺 太郎を殺してやろうと思たんだぜ。負けたと思たよ。だて朋子さんはあいつを信じたんだものな。あいつ、大人だ。たんだよ。

・ ネズ ガキのまんま、いいじやないか。
・ 猛 ネズミ。これ、やるよ。

◎ ピーター。パンの絵本を渡す。

・ ネズ 馬鹿にするなよ。お前一人で大人にならもりかよ。
・ 猛 ネーランドなんかどこにもないんだよな。俺が自分をつくらない限りどこにもないんだ。俺 絶対太郎よりすいネーランドぶくるからさ。お前も自分のネーランド作れよ。

・ ネズ お前と一緒に島じゃダメか。
・ 猛 それもおもしろいかもな。じゃあ、俺行くよ。その辺うろろしてるとさ。俺 太郎の結婚式場に火をつけそうだもんな。少し頭冷やすよ。

・ 良彦 しょうがねえさ。
・ 猛 差し入れ 待てるぞ。じゃあな。

◎ 猛 去る。

・ ネズ いちぢぢた。
・ 良彦 おい。山分けな。

◎ 一万円札を一枚つづつにわけける。少し考えて五枚目をネズミに渡す。

・ 良彦 待ててやれよ。どうせ半年くらいなもんだ。差し入れてやれよ。
・ ネズ お前 どうするんだ？
・ 良彦 俺が孤児院の前で捨くられた時な。良彦で書いた紙切れが添えてあつた。命と名前だけは一応くれたわけだ。その紙切れな。考えてみればひどい親だけど、秋田駅の駅弁の包み紙だ。たんだとよ。

・ ネズ 秋田か。
・ 良彦 ああ、俺秋田行てみる。別に親を探そうてわけじやないぞ。まあ、ここにも「あきたしな。金も手にいれたし。」
・ ネズ 戻てこいよ。
・ 良彦 ああ、お前と猛が結婚する頃な。
・ ネズ 馬鹿野郎。
・ 良彦 じゃあな。

◎ 良彦 去る。

・ ネズ みんないちぢぢた。

◎ 突然太郎と朋子が現れる。

・ 太郎 ネズミ君 新しい仕事を見つけたぞ。気に入ると思うんだ。
・ ネズ なんだよ。お前 動けるのかよ。
・ 太郎 ウルトランは死ななひんだ。さあ、着替えて着替えて。
・ 朋子 綿かし屋さんのな。一緒にやりましょ。
・ ネズ ふざけるなよ。
・ 太郎 まあ、そう言わないで。

◎ と 太郎 朋子がネズミを追かけ回すうちに暮が降りる。